

神奈川県高等学校体育連盟平成 25 年度各種大会報告

神奈川県高等学校体育連盟
理事長 坂本 紀典

1 第 51 回神奈川県高等学校総合体育大会総合開会式（平成 25 年 4 月 20 日）

第 51 回神奈川県高等学校総合体育大会兼平成 25 年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）神奈川県予選会の総合開会式が 4 月 20 日（土）、藤沢市善行の県立体育センター陸上競技場で開催され、194 校の 3,047 人が一同に会して健闘を誓い合いました。

また、県高体連の小野力会長（県横浜平沼高校長）は「到達地点は違うが、それぞれの体験が皆さんを大きく成長させてくれる」と激励し、部活動の体罰問題にも触れて「すべての指導者が原点に立ち返り、体罰の根絶に取り組む」と決意を語りました。



選手宣誓したのは、ともに昨年に全国優勝した三浦学苑サッカー部の伊藤大輝主将（3 年）と県厚木商業ソフトボール部 井上早織主将（3 年）で、「人生で一番輝けるこの高校時代に、仲間とともに大好きなスポーツができる」。全国 3 連覇を狙う厚木商業の井上早織主将が、充実した今を過ごしていることに思いを致すと、三浦学苑の伊藤大輝主将は「その感謝の気持ちは、仲間と全力で戦うことで表現できます」と言葉を続けました。



〈元気よく選手宣誓をする三浦学苑サッカー部の伊藤大輝主将（3 年）と県厚木商業ソフトボール部の井上早織主将（3 年）〉

入場行進のとりを飾ったのは、2014 年夏に神奈川、千葉、山梨の 3 県と東京都で開催される全国高校総体（インターハイ）を PR する実践委員会の生徒たちで、大会の愛称「煌（きら）めく青春 南関東総体」などと書かれた横断幕とのぼりを持ち、12 人がスタンドに手を振りながら歩きました。



〈笑顔と創意工夫に満ちた入場行進を披露する参加選手たち：神奈川新聞提供〉

2 平成 25 年度全国高等学校総合体育大会 「2013 未来をつなぐ北部九州総体」 （平成 25 年 7 月 28 日から 8 月 20 日）

「吹きわたれ 若人の風 北部九州へ」のスローガンのもと、平成 25 年度全国高等学校総合体育大会「2013 未来をつなぐ北部九州総体」が、平成 25 年 7 月 28 日から 8 月 20 日までの間、大分・福岡・佐賀・長崎の北部九州 4 県で開催されました。

総合開会式は、7 月 28 日に大分市の大分スポーツ公園大分銀行ドームで開催され、ブロック開催となって初めての屋外競技場での開催でした。

本県選手団は、825 人（男 482 人：女 343 人）が競技に参加し、団体のテニス（男子）で湘南工大が優勝し、個人の男子では陸上競技の 110mH と 400mH で古谷拓夢（相洋）、水泳の 100m 背で堀田恵路（慶應）、体操のゆかで白井健三（県岸根）、柔道（81 kg 級）で尾方寿應（桐蔭学園）、テニス（個人）で徳田廉大（湘南工大）がそれぞれ優勝をしました。また、カヌー（500mK-4）で小又・鈴木・古賀・早川（県横浜修悠館）が学校対抗で優勝しました。

女子では、水泳の 200m 自由形と 400m 自由形で五十嵐千尋（日大藤沢）、100m バタフライで細田梨乃（湘南工大）、フェンシングのフルーレで浅野早紀（日本女子大附）が優勝をしました。また、400mR では湘南工大（細田梨乃・相沢七実・西尾奈那子・野崎美優）が優勝をしました。選手たちの健闘を讃えたいと思います。

さらに、平成 25 年度全日本高等学校・大学ダンスフェスティバル（8 月 7 日から 10 日神戸市）で県大和が文部科学大臣賞を受賞したことを加えたいと思います。

この指導者が原点に立ち返り、体罰の根絶に取り組む」と決意を語りました。



選手宣誓したのは、ともに昨年に全国優勝した三浦学苑サッカー部の伊藤大輝主将（



2013 未来をつなぐ北部九州総体 総合開会式での神奈川県選手団（大分銀行ドーム）

3 平成 25 年度全国高等学校定時制通信制体育大会（平成 25 年 8 月 1 日から 22 日）

平成 25 年度全国高等学校定時制通信制体育大会が 8 月 1 日から 22 日まで、東京の国立競技場をはじめとする各種目会場で開催されました。

本県選手団は 312 人（男 217 : 女 95 人）が競技に参加し、個人では、陸上競技で 800m と 1500m で福村奨太（県神奈川総合産業）、5000m と 3000mSC で板垣裕樹（市高津定）、剣道で則政税（県横浜修悠館）、柔道 75 kg 級で倉益康輔（県横浜修悠館）が優勝しました。

また、団体ではバレーボール男子と剣道で県横浜修悠館が見事優勝の栄冠を勝ち取りました。

自転車競技では、4 k m 速度競争で重田光貴（県平塚農業初声分校）、ロード個人で野宮一郎（県平塚農業初声分校）、チームロードレースで県平塚農業初声分校、3 k m インディヴィデュアル・パーシュートで県追浜、トラック総合で県追浜が優勝しました。そして、ロード総合では、県平塚農業初声分校が優勝をしています。

4 平成 25 年度全国高等学校総合体育大会 冬季大会

〈駅 伝〉

年の終わりに京都の都大路を高校生が駆け巡る風景が風物詩となっている「全国高等学校総合体育大会 男子第 64 回 女子第 25 回全国高等学校駅伝競走大会」が、平成 25 年 12 月 22 日に開催され、男子が藤沢翔陵、女子が県荏田と白鵬女子の 2 校が出場しました。結果は藤沢翔陵が 25 位、県荏田が 9 位、白鵬女子が 11 位でした。

〈ラグビー〉

平成 25 年度第 92 回全国高等学校ラグビーフットボール大会は、東大阪市近鉄花園ラグビー場で開催され、本県の代表として桐蔭学園が出場しました。

桐蔭学園は A シードの評価通り決勝戦まで勝ち上がりました。決勝戦では東海大仰星とノーサイドの瞬間まで競り合いましたが、優勝旗を持ち帰ることはできませんでしたが、桐蔭学園の活躍を褒め称えたいと思います。



〈平成 25 年度 駅伝及びラグビー結団式 県立スポーツ会館〉

〈スキー〉

高校生スキーヤーの国内最高峰の大会である平成 25 年度全国高等学校総合体育大会・第 63 回全国高等学校スキー大会が、「舞え、猪苗代の雪とともに 飛べ、東北の大地を踏みしめて」のスローガンのもと、平成 26 年 2 月 4 日から 8 日までの 5 日間にわたり、福島県猪苗代町（アルペン競技とクロスカンントリー競技）と秋田県男鹿市（スペシャルジャンプ競技とノルディックコンバインド競技）を会場に開催されました。本県からはアルペンに男子 8 人、女子 5 人とノルディック男子 1 人の 14 人が出場しました。

〈スケート〉

平成 25 年度全国高等学校総合体育大会・第 63 回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会は、「いざ競え 氷上の絆 輝かせ」のスローガンのもと、9 年ぶり 10 度目となる青森県での開催となりました。

本県からは、アイスホッケー男子 4 人、フィギュア男子 4 人、女子 8 人が出場しました。